



Twinzer RD (Red Dot)

まったく新しいボードコンセプトが市場に登場 MISTRALのTWIN FIN "Twinzer" が進化したことで独特なフィーリングのウェイブライディングを確立することができました。PWA選手のようなバーチカルなボトムターンからのリップリングを膝腰の波でも実現してくれます。なぜなら深いVボトムと高性能のCNC成型G10ツインフィンとが最大限に作用し、あらゆる「波とコンディション」で純粋にウェイブライディングを楽しめるでしょう。また、イージーコントロールで常に波のベストポジションをキープを可能にしています。そして皆さんが心配しているレイダンのボトムターン時にスピニアウトしてしまうことはありません。

Summary:

- 純粋にウェイブライディングの興奮が味わえる。
- 切り裂く様なウェイブライディングを楽しめる。
- バーチカルなカットバックがイージーに味わえる。
- Vを強くしレイルトゥレイルをしやすくしている。
- ストレートロッカーでアーリープレーニング。
- CNC成型 G10 フィン
- エアポッドデッキパッド
- レッドドットディビジョン (軽量モデル)
- カーボンケブラーカスタムサンドイッチ
- 84 L は **Marcilio Browne Pro Edition**

Red-Dot Division Range:

volume: 76 / 84 (Marcilio Pro Edition) / 92

length: 223cm (7'3") / 225cm (7'4") / 231cm (7'6")

width: 56cm (22") / 59cm (23") / 63 (25")

construction: Carbon Kevlar Sandwich

rec.sailsiz: up to 5,0qm / up to 5,7qm / up to 6,2qm

Twin Fin / US: 15,5 / 16,5 / 17,5





Photograph: Benjamin Thionnet



The Twin Fin Insight by Marcilio Browne and Nik Baker

どうしてツインフィンに戻ったのか？他のブランドが 10 年も前に試したことなのに。

ツインフィンは 10 年前に消えてしまいました。何故なら、ツインフィンのコンセプトがサイドオフショアのコンディションだけに有効だったからです。この時 Polakow が彼のラディカルなスタイルで現れ、シングルフィンが続きました。彼のボードは一般的で色々なコンディションで色々なスポットで乗れるというものでした。この 10 年間で私たちは多くのことを学びました。ロッカー、アウトライン、ボトムシェイプ、そして大きく変わったのは CNC フィンとハイパフォーマンスなセイル。これらをベースに私たちは再びツインフィンの開発に取り組むことができたのです。

大きな違いはツインフィンではカーブが簡単にできることです。そしてほんの少しパワーを加えるだけで波の最深部に近づくことができます。しかし、短いフィンはボードのリフトが少なく、プレーニングを感じるまでに時間がかかりますが、ツインザーはアップウインドが良く、安定感があります。

新しいツインフィンのコンセプトをもう少し見てみましょう：

2 枚のフィンの働きは？

今まで 1 枚のフィンがあった場所に 2 枚のフィンを適切な間隔を空けて取り付けます。これによってボードをよりコントロールしやすくなります。フィンにかかる衝撃が変わってしまうため、ツインザーには特別なシェイプの小さなフィンが必要です。実際に 2 枚のフィンはシングルフィンよりも重要で、合わないフィンのセットはボードをコントロール不能にしたりスピナウトさせてしまいます。

ツインザーの面白さは？

どんなコンディションで使えますか？

ツインザーの大きな強みはウェイブライディングやジャイブのときにルーズさがアップすることです。小さな径のターンを可能にし、シングルフィンのボードよりも簡単にできます。小さくてパワーのない波の時にちょうどいいでしょう。波の上でもっとアクティブに乗れるし、2 枚のフィンの中からコントロールとカービングが生まれます。レイルとフィンは波の最深部に食い込みます。小さなフィンはトップターンでさらにラディカルにそしてパワフルに、なおかつコントロールをキープします。もしターンの時に傾き過ぎても、少なくとも 1 枚のフィンは常に水中に残っています。

ノーマルなウェイブボードとのシェイプの違いは？

第一に、ツインフィン短い。7'4" から 7'7" の間で、ややワイドにしてプレーニング力を強くしました。テイルキックは控えめにし、Vを加えました。それがウェイブボードとの一番の違いです。これによって短いツインフィンボードの走り出しがよくなり、ジャンプのために必要なトップスピードを容易に得られ、オンショアコンディションでのセイリングが可能になりました。Vによってボードがターンします。フラットなロッカーはプレーニングとスピードにとって重要なものです。ターンの時にレイルを沈めると、Vはロッカーの働きをします。これがルーズさのあるボードの特徴です。多くのウェイブボードではロッカーラインによってターンができるのです。

ツインフィンに乗るときに気をつけることは？:

アクセルが劣るのでノーマルのウェイブボードに比べると、4-5 ボリュームがあります。通常のセイリングの場合はフィンが短くりフトが少ないため、走り出しに時間がかかるように感じられることもあります。オンショアやガスティなら大きなサイズのボードに乗るとコントロールが効くでしょう。ボードはよくターンし、さらにいいことに、ほんの少しのパワーを加えるだけでターンします。

どんなフィンを使えばいいのでしょうか？

例を挙げると、私たちは3モデルに3サイズのフィンをデザインしました。

76 / 84 / 92 : 15.5cm, 16.5cm, 17.5cm

これらはノーマルウェイブボードのフィンと同様のデザインですが、サイズが小さいのでやや硬めです。可能な限りドラッグを少なくし、ボードにスピードを与えられるようにしました。

ノーマルウェイブボードのフィンとの違いは？

少し違います。短くて、アウトラインが違います。縮小して硬くすることはプレーニングとコントロールに影響するので重要なのです。

フィンの位置は？どのようにフィンを取り付ければいいのでしょうか？それぞれを隣同士に？スタボータックで乗る時、どちらを前に付けばいいでしょう..？

ほとんどはフィンボックスの真ん中に並べて付けます。上級者ならサイドショアコンディションでボトムターンの時によく使う側のフィンを後ろに下げると、バンピーな波やビッグウェイブの時にコントロールの効いた長いターンができます。また小さな波で経験豊かなライダーならフィンを2枚とも前の方に付けるとさらにルーズな感じになります。

3サイズありますね、(76/84/92) それぞれに適したセイルサイズは？

私たちがお勧めするのは76 に 5.0 m²以下、84 に 5.7 m²以下、92 は 6.2 m²以下。ライダーのスキルとコンディションによって変わります。前にも言いましたが、プレーニングを感じるまでにしばらく時間がかかりますが、一度慣れてしまえば、まったく新しいウェイブライディングを楽しむことができ、Kauli や Marcilio や Jason や Nick のようにウェイブに乗れるでしょう。